

『マルテの手記』おもな登場人物

マルテ・ラウリス・ブリッゲ

父

クリストフ・デ・トレフ・ブリッゲ

マルガレーテ・ブリッゲ

ママ

ブラーエ伯爵

伯父

本作の語り手。ヨーロッパを放浪するデンマーク出身の若者。

マルテの父。「狩猟長」「侍従」。

父方の祖父。「老侍従」。ウルスゴーに住んでいる。

父方の祖母。

マルテの母。

母方の祖父。ウァネクロスタに住んでいる。

母方の親戚（関係不明）。軍の元少佐。

マティルデ・ブラーエ

エリック

クリステイーネ・ブラーエ

クリステリアン・ブラーエ伯爵

エンゲボ

エレゴール・スケール伯爵夫人

アペローネ

マドモワゼル

シーヴァセン

母方の遠い親戚。マルテの母の面影を残す。心霊術に傾倒。

母方の従姉の息子。マルテとほぼ同世代。

ウァネクロスタに出没する女性の幽霊。

母の弟。

母方の親戚と思われるが関係は不明。

母の妹。燭台の火が燃え移って焼死。

母の一番下の妹。

マルテの子守係のフランス人女性。

ブラーエ家の家政婦。

Y100
M100

Y60
M100



マルテの手記
49.5mm×135mm

しおり（裏面）

Y100
M100

Y60
M100



マルテの手記
49.5mm×135mm

しおり（表面）